

第3種郵便物認可

# 更紗と詩響き合う空間

## 故青木さん 感性伝える

向日のミュージアム



青木さんの更紗作品に詩のパネルを添えて展示している会場(向日市寺戸町・寿恵更紗ミュージアム)



初出展された着物作品「銀河辻ケ花」

更紗作家の故青木寿恵さんの作品と自作の企画展が14日、向日市寺戸町の寿恵更紗ミュージアム

で始まった。鮮やかな草木染で仕立てられた着物やタペストリーに、季節や自然を詠んだ詩が添えられ、青木さんの豊かな感性を伝えている。青木さんは生前、手描きの草花が咲き乱れる北海道の夏を表現した着物には、新緑が目にしめる情景を描いた詩を添えた。優美なタイの舞姫を描いた屏風には踊りの楽しさをつづった詩を合わせた。「露の玉になりたい」と題した詩は、朝露に自らの生き方を重ねている。展示品には、落ち着いた青い生地に草花や蝶をあしらった着物「銀河辻ケ花」など初出展も6点含まれる。広

木染で制作した更紗作品で知られたが、詩集も出版していた。企画展は更紗作品と詩を組み合わせることで、青木さんの人となりを知ってもらおう狙い。着物やタペストリー、額装など更紗作品42点と詩のパネル15点を展示している。島根大竹市から訪れた小山丹恵さん(58)は「詩と作品の双方から、青木さんの生きざまが伝わってくる」と感銘を受けていた。5月31日まで。月曜休館。入館料は一般500円、大学生・高校生350円。(高野英明)